

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 高橋 謙輔 TEL 03 (3553) 8118
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	24,450	3.7	954	25.9	936	40.6	208	56.3
28年12月期第3四半期	23,580	3.2	758	△34.3	666	△40.7	133	△74.8

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 225百万円 (-%) 28年12月期第3四半期 △286百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	11.33	11.19
28年12月期第3四半期	7.27	7.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	15,885	4,135	24.4	210.86
28年12月期	15,518	3,989	24.2	204.01

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 3,884百万円 28年12月期 3,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年12月期	—	0.00	—		
29年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	7.8	1,250	16.1	1,150	19.1	350	—	19.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	18,424,600株	28年12月期	18,374,200株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	ー株	28年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	18,393,964株	28年12月期3Q	18,345,086株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調にあるものの、足踏み状態が続く個人消費に加え、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど、先行きが不透明な状況が続きました。外食業界におきましても、高止まりする原材料価格や物流費の上昇、人手不足に伴う人件費の上昇等、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、QSC向上を基盤とした各ブランドにおける「銀だこスタイル」を確立させながらの店舗展開、そして当社の主力である築地銀だこ事業に経営資源を集中させることを戦略の軸に据え、事業を推進してまいりました。

主力ブランドの「築地銀だこ」においては、今年3月に創業20周年を迎え、築地銀だこ20周年『ニッポンのタコヤキは、タノシイ。』をスローガンに、継続的な販促活動に取り組みました。8月に実施した築地銀だこ『銀だこ祭り』に合わせて7月31日から8月2日までの3日間、春に引き続きTVCMの放映を行い、大規模なキャンペーンを展開し、既存店売上高を押し上げました。新商品開発においても、好調な「贅沢ねぎだこシリーズ」「プレミアムシリーズ」において期間限定商品を発売し、客単価の向上に寄与しました。加えて8月は、ソフトバンク株式会社が実施するキャンペーン「スーパーフライデー」とのタイアップも実施し、更に8月8日は年に一度の『銀だこの日』としてキャンペーンを行いました。

「COLD STONE CREAMERY」においては、夏のアイスシーズンに合わせて、店舗における期間限定商品の発売やコンビニエンスストア向け新商品の発売、イベント実施、TV露出の機会増加など、ブランディングの取り組みを積極的に行いました。一方で、不採算店舗の閉鎖を実施し、店舗主体のビジネスモデルから製造・卸事業の拡大へ向けて、事業構造の転換に取り組みました。

キッシュ業態においては、前期よりスタートした新業態の焼き立てキッシュの店「La Quiche(ラ キッシュ)」、更にイートインメニューやドリンクメニューを豊富に揃えたカフェ業態の「cafe La Quiche(カフェ ラ キッシュ)」の出店を積極的に推進し、当第3四半期連結会計期間末において、キッシュ業態は17店舗となりました。「銀のあん」や「The Coffee Bean & Tea Leaf」からの業態変更による出店も含まれており、今後も必要に応じてグループ内の業態変更を機動的に行い、グループ全体の収益性改善を図ってまいります。

海外事業においては、主として香港での多業態出店を加速させております。アークランドサービスホールディングス株式会社よりライセンス供与を受けているからあげ専門店「からやま」の海外第1号店を、香港の黄大仙テンブルモールに7月にオープンいたしました。続いて、8月には第2号店をイオンライチーコック店にオープンし、いずれも好調な売上水準を維持しています。9月には「キッシュヨロイツカ」海外第2号店をオープンいたしました。当第3四半期連結会計期間末において、香港で当社グループが運営する店舗数は24店となりました。他地域では、マレーシアで10店舗目となる「築地銀だこ」を8月にオープンいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,450百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は954百万円(前期比25.9%増)、経常利益は936百万円(前期比40.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は208百万円(前期比56.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状況の分析

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて366百万円増加し、15,885百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が549百万円減少した一方、有形固定資産が424百万円、たな卸資産が245百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて220百万円増加し、11,750百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が378百万円減少した一方、短期借入金が853百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて145百万円増加し、4,135百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益208百万円を計上した一方、剰余金の配当91百万円及び繰延ヘッジ損益の減少19百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,329,003	1,505,148
受取手形及び売掛金	2,580,220	2,030,572
たな卸資産	1,693,833	1,939,288
その他	627,551	704,751
貸倒引当金	△18,236	△11,000
流動資産合計	6,212,372	6,168,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,593,520	4,903,643
その他(純額)	1,279,847	1,394,008
有形固定資産合計	5,873,367	6,297,651
無形固定資産		
のれん	421,809	334,254
その他	88,242	192,002
無形固定資産合計	510,052	526,257
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,266,656	2,278,005
その他	661,145	619,685
貸倒引当金	△4,820	△4,820
投資その他の資産合計	2,922,982	2,892,871
固定資産合計	9,306,401	9,716,780
資産合計	15,518,774	15,885,541
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,178,779	1,186,312
短期借入金	3,069,305	3,922,826
1年内返済予定の長期借入金	1,381,454	1,551,770
未払法人税等	281,641	91,231
賞与引当金	57,307	164,239
資産除去債務	46,540	12,700
その他	2,226,514	1,877,364
流動負債合計	8,241,543	8,806,445
固定負債		
長期借入金	2,194,579	1,815,655
資産除去債務	384,629	386,400
退職給付に係る負債	51,004	53,587
その他	657,552	688,216
固定負債合計	3,287,765	2,943,859
負債合計	11,529,308	11,750,304

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,671,519	1,677,819
資本剰余金	1,564,174	1,570,491
利益剰余金	545,312	661,933
株主資本合計	3,781,007	3,910,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,798	8,518
為替換算調整勘定	△23,747	990
退職給付に係る調整累計額	△6,291	△5,434
繰延ヘッジ損益	△10,327	△29,335
その他の包括利益累計額合計	△32,569	△25,261
非支配株主持分	241,027	250,253
純資産合計	3,989,465	4,135,237
負債純資産合計	15,518,774	15,885,541

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	23,580,460	24,450,592
売上原価	9,264,798	9,712,563
売上総利益	14,315,662	14,738,028
販売費及び一般管理費	13,557,602	13,783,824
営業利益	758,059	954,203
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,112	1,760
その他	9,383	22,590
営業外収益合計	11,496	24,350
営業外費用		
支払利息	25,961	23,777
為替差損	56,638	7,436
支払手数料	-	2,652
持分法による投資損失	7,060	5,498
その他	13,802	2,572
営業外費用合計	103,462	41,937
経常利益	666,093	936,616
特別利益		
固定資産売却益	-	478
子会社株式売却益	-	601
特別利益合計	-	1,080
特別損失		
固定資産除却損	142,025	270,443
店舗整理損失	76,679	136,551
減損損失	43,478	78,973
その他	18,694	1,525
特別損失合計	280,877	487,494
税金等調整前四半期純利益	385,215	450,202
法人税、住民税及び事業税	338,919	162,384
法人税等調整額	△4,200	89,261
法人税等合計	334,718	251,646
四半期純利益	50,496	198,556
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△82,920	△9,934
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,417	208,491

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	50,496	198,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,811	720
為替換算調整勘定	△98,869	43,899
退職給付に係る調整額	△1,683	856
繰延ヘッジ損益	△233,935	△19,007
その他の包括利益合計	△337,300	26,468
四半期包括利益	△286,803	225,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,049	215,799
非支配株主に係る四半期包括利益	△126,754	9,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「持分法による投資損失」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた20,862千円は、「持分法による投資損失」7,060千円、「その他」13,802千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。